



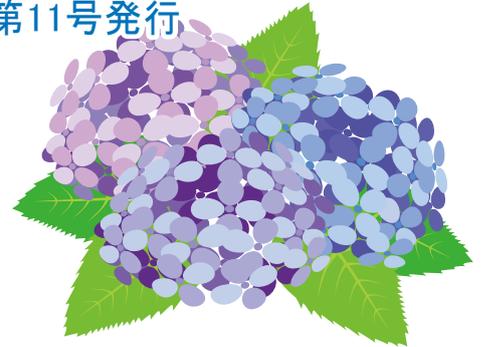
VM ネット

Virtual Media Studio Gifu

INDEX

- タブレット型電子端末を活用した教育等利活用モデル構築事業
- セミナーを通し、在宅就業支援制度の周知・啓発を図る
- 障がいをもつ子どもの自立に向けて Part2
- 新登録ワーカー紹介！

第11号発行



夏を思わせるような陽気の日もあるこの頃ですが、VMネットをお読み頂き、誠にありがとうございます。

さて、当法人では、昨年度「ぎふ子育て支援助成基金助成事業」と「タブレット型電子端末を活用した教育等利活用モデル構築事業」と厚生労働省「在宅就業支援制度の周知・啓発事業」に取り組んで参りました。

そこで今号では、この事業の一環として実施した、体験学習会・映画上映会と講演会・啓発セミナーなどの模様をお届けしたいと思います。

■ タブレット型電子端末を活用した教育等利活用モデル構築事業

～ パーチャルメディア工房ぎふ、頸髄損傷者連絡会岐阜合同 iPad 体験学習会～

前10号でも紹介させて頂きましたが、平成23年度、IAMAS(情報科学芸術大学院大学/岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー)とともにタブレット型PC利活用についての事業の中で、障がい者のQOL向上のための研究会を日本福祉大学の先生・学生の方々や岐阜県情報技術研究所、ソフトピアジャパンにもご協力頂いて終えることができました。

その中で、上肢に障がいのある方がタブレット型PCを利用する際のニーズの把握等のため、平成23年11月18日(金)、「タブレット型電子端末を活用した教育等利活用モデル構築事業」における、iPad 体験学習会を、当法人と頸髄損傷者連絡会岐阜の合同で実施しましたのでご紹介します。

『体験学習会の目的』

- ・iPadを体験し、タブレット型PCやスマートフォンの利便性などについて理解し、今後の生活や就業に活かす事を目的としたもの。
- ・参加者の素直な感想や要望事項を本事業や障がい者のQOL向上のための研究会の検討にも活かす事を目的としたもの。

最新のiPadの基本ソフト「iOS5」とiPad2の組み合わせでは、ユーザー補助機能が拡充され、今まで不可能だったピンチイン・アウトなどの複数の指で画面タッチしなければならない操作が、代用できるようになりました。上肢に障がいがある場合でも、マルチタッチスクリーンの独特の操作が可能です。また、感圧式でなく静電式のタッチスクリーンは、電気を通さないマウススティックや麻痺した指などでの操作が困難でしたが、スタイラスペンや導電性繊維の手袋などを組み合わせることでスムーズな利用も可能となります。



『体験学習会の参加者の感想・意見』

- ・スタイラスペンを使用すれば指が不自由でも使え、パソコンよりも操作が簡単
- ・ユーザー補助があるので便利
- ・設置場所が限定されないため利用範囲が広がる(ベットでも利用しやすい)
- ・iPadの便利さは分かったが、アプリの種類や入手方法が分からない
- ・IAMAS、日本福祉大学の先生や学生の方々など本事業を研究されている方々と感想・意見の交流ができ良かった
- ・電子書籍は、障がい児が教科書を持ち歩かなくても良いし、タッチでページをめくれるのでとても便利

